日本教育大学協会が評議員会を開催

日本教育大学協会評議員会が 6 月 13 日（木），ＫＫＲホテル東京において開催された。

冒頭の村松泰子日本教育大学協会長（東京学芸大学長）のあいさつでは，昨年の評議員会後の一年間を振り返り，昨年末の政権交代後，教育再生実行会議において既に三次にわたる提言が出され，初中教育，大学教育，教員養成，教育行政の在り方等について，新たな政策課題が次々と打ち出されてきていることを踏まえ，教大協会員校としても前政権以来議論してきた部分と今後変わっていくもの等々を見極めて取り組んでいく必要があると述べた。

引き続き，文部科学省説明では，池田貴城高等教育局大学振興課長から，①教育改革に関する政府の諸会議について，②大学分科会の審議状況について，③教員の資質能力向上に係る当面の改善方策の実施に向けた協力者会議における審議状況について，髙口努初等中等教育局教職員課長から，①教育再生実行本部新人材確保法の制定部会について，②認定こども園法改正に伴う幼稚園教諭免許状及び保育士資格の取得の特例について，③栄養教諭対象の更新講習の開設についてそれぞれ説明があり，活発な意見交換が行われた。

会議後半は，平成 24 年度事業報告，各委員会・地区会等からの報告があった後，平成 24 年度決算書，平成 25 年度事業計画・予算等が提案どおり承認された。その後，当面の諸課題等について意見交換が行われ，教員養成系大学・学部を取り巻く様々な情勢等について話し合われた。

村松会長

池田大学振興課長

髙口教職員課長

説明を聞き入る各評議員